

2021年3月期決算 補足資料

2021年4月28日

北海道ガス株式会社

代表取締役社長 大槻 博

- 連結、個別ともに4期ぶりの減収
- 連結は7期連続の増益（最高益）、個別は5期連続の増益

北ガスグループ（連結）

（ ）内は、前年比

売上高

1,181.6億円
(▲82.1億円、▲6.5%)

経常
利益

54.5億円
(+2.6億円、+5.0%)

最高
益

北海道ガス（個別）

（ ）内は、前年比

売上高

999.3億円
(▲86.0億円、▲7.9%)

経常
利益

37.6億円
(+4.7億円、+14.6%)

ガス販売量 **5億9千7百万m³** (前年比 +0.4%)

- 新型コロナウイルスにより商業用、工業用が減少（飲食、ホテル、リネン、飲料工場等）
- 寒波の影響によりガス販売量全体が押し上げ
- 家庭用はお客さま件数の増加に加え、巣ごもり影響により増加

→ コロナ影響があったものの、全体ではほぼ前年並み

(単位：千m³)

分野	当期	前年	前年比	増減率	要因
家庭用	219,123	201,231	+17,892	+8.9%	お客さま件数増、寒波、巣ごもり影響により増
業務用	364,844	383,131	▲18,287	▲4.8%	
商業用	167,582	193,920	▲26,338	▲13.6%	新型コロナウイルスの影響による営業自粛により減
工業用	88,336	90,889	▲2,553	▲2.8%	新型コロナウイルスの影響による工場需要減
公用	66,913	58,752	+8,161	+13.9%	新設物件の稼働、寒波の影響により増
医療用	42,013	39,570	+2,444	+6.2%	寒波の影響等により増
家庭用+業務用 小計	583,967	584,362	▲394	▲0.1%	
卸供給	13,146	10,261	+2,885	+28.1%	寒波、巣ごもり影響により増
合計	597,113	594,622	+2,490	+0.4%	

主要計数<ガス（お客さま件数）>

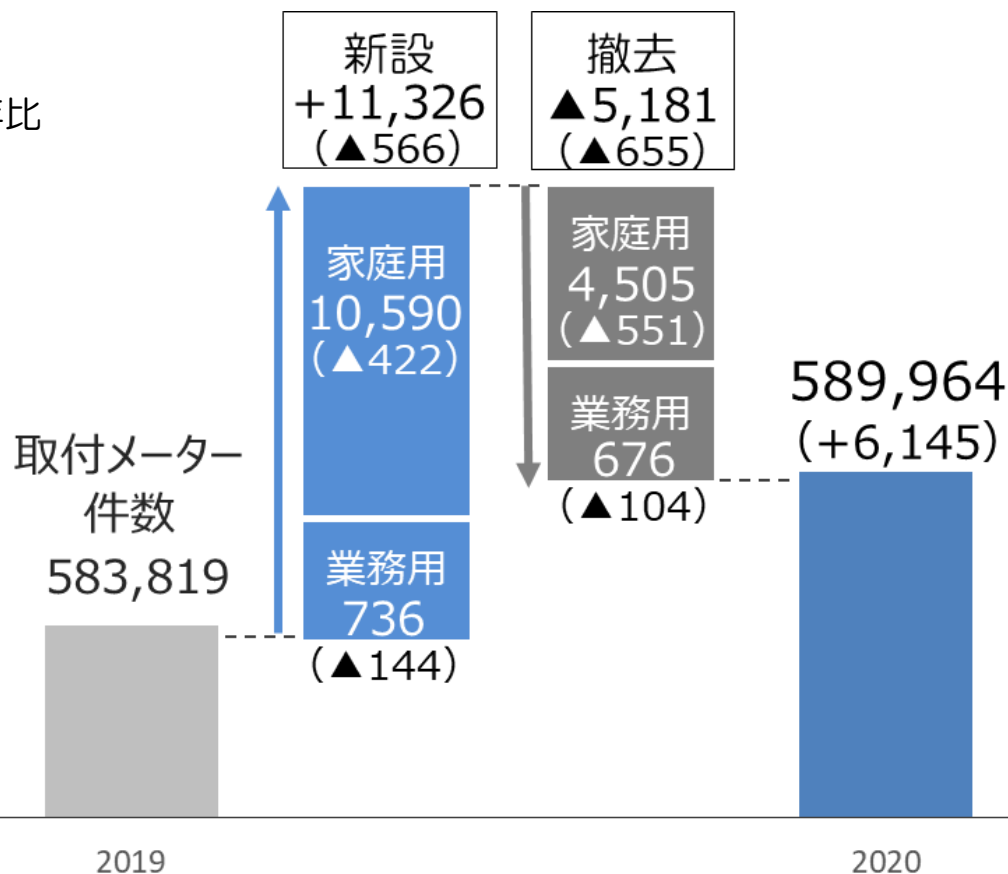
お客さま件数
(取付メーター件数)

589,964 件 (前年比 +6,145件)

- 新設獲得件数は1.1万件となり、6年連続で1万件を超える
- お客さま件数は6千件増加し、8年連続の純増

<単位：件>

() 内は、前年比



<新築>

- 住宅市況が落ち込む中、新築戸建は3,045件（対前年+25件）と前年並みの件数を獲得。戸建のエコジョーズ設置件数は累計4.2万件を達成
- 賃貸は天然ガスの経済性による入居率の高さが浸透し、新築賃貸は3期連続で50%を超える高いシェアを維持

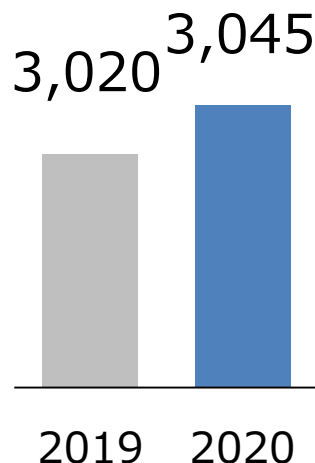
<既築>

- 天然ガスの経済性・環境性を訴求し、天然ガスへの燃料転換件数は4期連続で500件超え

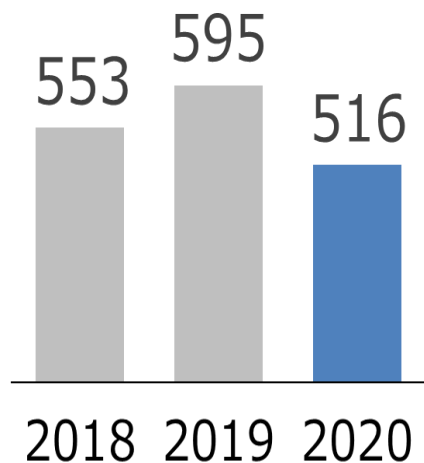
戸建

【件（）内は前年比】

<新築>獲得件数



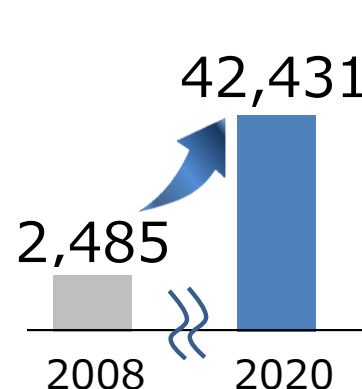
<既築>燃料転換件数



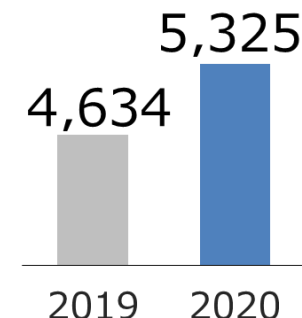
累計設置件数

【件（）内は前年比】

●戸建エコジョーズ



●ガスマイホーム発電



コレモ余剰電力買取
3,701件 (+1,047)

●EMINEL（稼働件数）累計 678件 (+402)

- 新型コロナウイルスによりホテルや病院で一部計画延期や凍結があったものの、2020年度案件への影響は限定的
- 省エネやBCPニーズに対応するために、食品工場等で天然ガスコージェネレーションの採用が拡大
- 幅広い業種で、他燃料から環境性に優れた天然ガスへの燃転を展開

都市エネルギー分野

- 開発量：1,221万m³
- 事務所ビルやホテル、病院等の計画案件を獲得
- ボイラーメーカー連携強化

中小口業務用分野

- 開発量：99万m³
- 厨房＋空調提案強化
- 飲食店支援活動（グルメパートナー加盟店拡大（全道935件））

産業用分野

- 開発量：633万m³
- 新たな需要の開発
- 食品工場の燃転・増設
- 天然ガスコージェネレーションの提案強化

LNGサテライト供給

- 累計お客さま件数 27件
- 今期3件稼働
- 天然ガスコージェネレーションの採用拡大
- 省エネ、付加価値サービスで、全道各地で営業展開

お客さま件数

193,633件
(前年比 +22,281件)

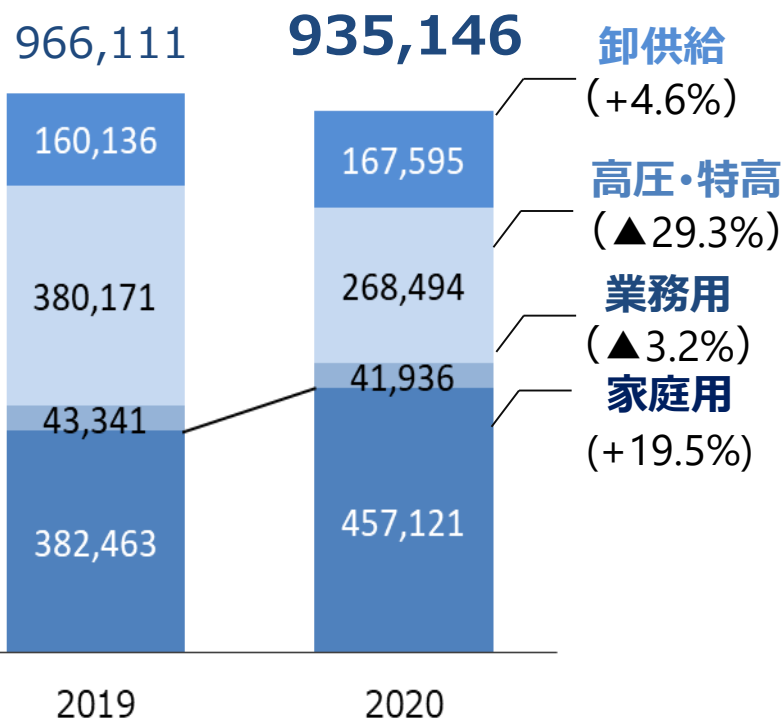
- コロナ禍による対面営業の制約により20万件の目標は未達
- 下期以降、webキャンペーンや、道内都市ガス事業者との連携を強化し、年間で2.2万件増加

電力販売量

9億3千5百万kWh
(同▲3千万kWh、▲3.2%)

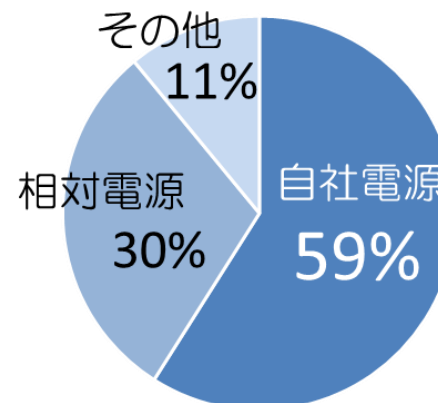
- 低圧は、お客さま件数増により増加
- 高圧、特高分野は、競争激化および市場調達リスク回避のため販売量は減少

<販売量内訳> (単位：千kWh)



電源構成

- 1月の市場価格高騰時、自社電源をフル稼働させ影響を最小化。



2020年度 (kWhベースの構成比)

- 連結、個別ともに減収増益
- 特別利益5億円を計上し、当期純利益は連結42億円、個別31億円

(百万円)

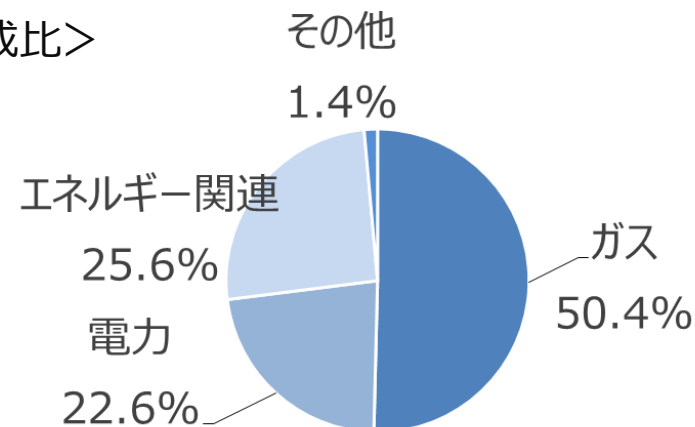
		当期	前年	増減	増減率	主な理由
売上高	連結	118,161	126,375	▲8,213	▲6.5%	• 原料費調整制度による販売単価の低下
	個別	99,933	108,535	▲8,601	▲7.9%	
営業利益	連結	5,086	4,606	+479	+10.4%	• 家庭用を中心としたガス販売量の増加 • 原材料費の減少 • 経営全般に渡る効率化
	個別	3,456	2,972	+484	+16.3%	
(営業外損益)	連結	370	588	▲217	▲37.0%	• 前年は修繕引当金の戻入あり (連結)
	個別	305	311	▲6	▲2.1%	
経常利益	連結	5,456	5,194	+261	+5.0%	
	個別	3,761	3,283	+478	+14.6%	
(特別損益)	連結	540	0	540	-	• 都市計画に伴う道路用地の売却 等
	個別	540	0	540	-	
当期純利益	連結	4,289	3,954	+334	+8.5%	
	個別	3,112	2,444	+668	+27.3%	

※連結の「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を表す

連結

- ガス：原料費調整制度による販売単価の低下
- 電力：燃料費調整制度による販売単価の低下、
高圧販売量の減少
- エネルギー関連：
熱供給事業や、
家庭向け器具販売の減少等により減収。

<構成比>



(単位：百万円)

セグメント	当期	(構成比)	前年	(構成比)	差額	増減率
ガス (都市ガス、LNG販売)	59,545	(50.4%)	66,021	(52.3%)	▲ 6,476	▲9.8%
電力	26,726	(22.6%)	27,659	(21.9%)	▲ 932	▲3.4%
エネルギー関連 (工事・器具、熱事業 他)	30,211	(25.6%)	31,258	(24.7%)	▲ 1,046	▲3.3%
その他	1,678	(1.4%)	1,435	(1.1%)	+242	+16.9%
合計	118,161	(100%)	126,375	(100%)	▲ 8,213	▲6.5%

石狩発電所等の設備投資により総資産が増加。
一方、利益剰余金の増加により自己資本比率は34.5%に上昇。

(億円)

	当期末	前期末	増減	
総資産	1,512	1,503	+8	・石狩発電所等の設備投資増
負債	969	999	▲29	・有利子負債の減少
純資産	542	504	+38	・利益剰余金の増加

(円/株)

	当期末	前期末	増減	配当	期	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
					有利子負債 (億円)	736	799	▲62	中間
自己資本比率 (%)	34.5	32.2	+2.3	期末	20	22.5	25	25	
				年間	40	45	50	50	

※2018年10月1日付で、当社普通株式5株につき1株の割合で株式併合。
各年度、当該株式併合後に換算。

- ガスについては、新型コロナ影響の長期化が見込まれるものの、家庭用分野を中心にガス需要を積み上げ（+5千件）、ガス販売量は6億2千万m³を計画
- 電力については、高圧・特別高圧の分野において、競争激化に加え、市場調達リスク回避などから販売量が減少するものの、低圧のお客さま件数を21.5万件まで伸長し、電力販売量は9億2千万kWhを確保

() 内は前年比

ガス

販売量 **6億2千万m³** (+22百万m³、+ 3.8%)
 取付メーター件数 **59.5万件** (+ 5千件、+ 0.8%)

電力

販売量 **9億2千万kWh** (▲15百万kWh、▲ 1.6%)
 お客さま件数 **21.5万件** (+2.1万件、+ 11.0%)

- 売上高は電力事業の減収（新会計基準適用の影響及び高圧販売量の減少）はあるものの、ガス販売量の増加等によりほぼ前年並みの1,190億円を計画
- 経常利益は家庭用を中心としたガス・電力の需要増に加え、グループ全体での経営効率化等により、連結経常利益として62億円を計画

北ガスグループ（連結）

売上高 **1,190**億円 (+8億円)

経常利益 **62**億円 (+7億円)

当期純利益 **44**億円 (+1億円)

設備投資
(連結)

138億円
(+27億円)

北海道ガス（個別）

売上高 **1,000**億円 (+0.6億円)

経常利益 **50**億円 (+12億円)

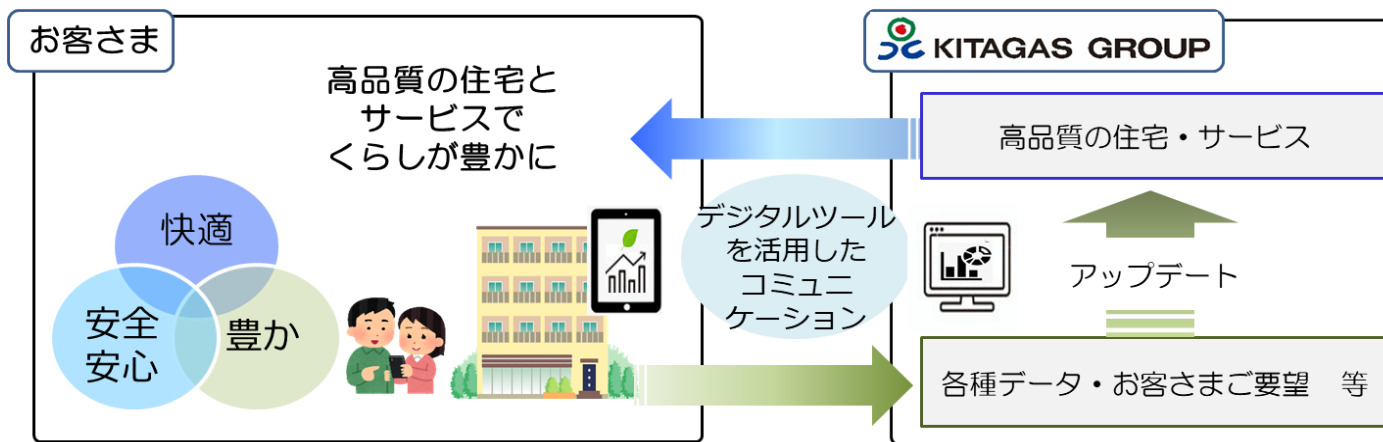
当期純利益 **36**億円 (+4億円)

2021年度（計画）【億円】			
製造（LNG基地・工場）	4	附帯（熱供給、電力、LPG等）	57
供給（ガス導管）	66	無形固定資産（ソフトウェア等）	7
業務（社屋修繕等）	4	合計	138

北ガスグループの持続的な成長に向けて、新たに住宅賃貸事業へ参入する。

参入 目的

- ① お客さまとの長期的な関係の構築
⇒ 「住宅 × エネルギー × サービス」をパッケージで提供することで、賃貸住宅にお住まいのお客さまとも関係をより強固にしていく
- ② 「総合エネルギーサービスの実践の場」として活用
⇒ 「住まい」に深く関わることで得たノウハウを家庭用分野全体で活用し、総合エネルギーサービスを進化させていく
- ③ 地域の発展に貢献
⇒ まちづくりとの連携などにより、地域の活性化に貢献する



サービスを
家庭用分野全体へ展開



まちづくり
地域の発展に貢献

3社連携協定の締結

- ◆ 北海道ガス、北海道銀行、常口アトムの3社で連携協定を締結
- ◆ 各社のノウハウ・ネットワークを活かし、連携して事業を推進

第1号物件の建設

- ◆ 札幌市中央区北3条東5丁目の社有地に第1号物件を建設
- ◆ 2022年2月下旬より入居開始予定

(外観イメージ)



(インテリアイメージ)



(以降、参考資料)



1. ガス事業基盤の強化

- ガス導管延伸営業
- マイホーム発電、業務用CGSの普及拡大



2. 電力事業の推進

- デジタル活用による拡販
- 再生可能エネルギーの導入拡大



業務プロセス改革

情報共通基盤の
整備

新たな企業価値創造

3. 北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開

- EMINELの既築市場への展開
- CEMSの普及拡大
(新さっぽろ地区再開発)



～ エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造 ～

2016~2020年度 主な取り組み総括

ガス事業 基盤の強化

- ◆天然ガス、ガスコージェネレーション普及拡大
- ◆導管網拡充
- ◆災害対応力強化

エコジョーズ

累計 4万件(戸建)
シェア 90%(新築)

ガスマイホーム発電

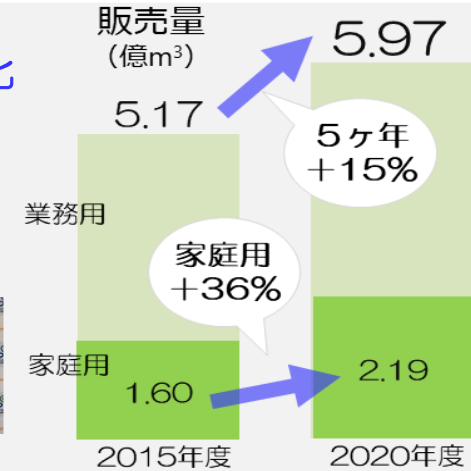
累計 5千件超
シェア 22%(新築)

災害時連携協定

全地区保安機能統合・高度化

供給防災センター
(グループ本社ビル内)

カーボンニュートラルLNG



電力事業の 推進

- 2016年4月事業参入
- ◆全道展開
 - ◆強靱、低炭素な電源確保

北ガスの電気

離島を除く北海道
全175市町村へ

自社電源(10万kW級)

北ガス石狩発電所
北ガス札幌発電所

お客さまの余剰電力買取

コレモ、太陽光
電力買取サービス

再エネの導入

苫小牧バイオマス
発電所、太陽光等



お客さま
件数(万件)



EMSの 展開

- ◆EMS基盤整備

※EMS：エネルギーマネジメントサービス

EMINEL

累計800件



地域エネルギーマネジメント

46エネルギーセンター・CEMS

地域資源活用連携協定

夕張市、上士幌町、豊富町等



事業・人材 基盤の強化

- ◆業務基盤整備

総合エネルギーサービス事業、働き方改革、女性活躍、健康経営の強力な推進基盤の構築

北ガスグループ本社ビル



北ガス社員
年齢構成

